

2008 年度

| | | |
|---|-------------------------------|--|
| <p>科目名</p> <p style="text-align: center;">生徒指導論特講</p> | <p>対象学科・学年 専攻科教福 1 回生</p> | <p>担当者</p> <p style="text-align: center;">松田 晃</p> |
| <p>授業テーマ</p> <p>・生徒指導のあり方と生徒指導上の諸課題(いじめ・無気力化・不登校・薬物乱用等)への取り組み</p> | | |
| <p>授業の概要と目標</p> <p>・生徒指導の意義と課題、教育課程との関連を考察し、生徒指導の組織や指導計画を考察するとともに生徒理解、集団指導、個別指導等の在り方を模索する。あわせて問題行動の理解と指導、進路指導の在り方を追求する。</p> | | |
| <p>評価方法</p> <p>・毎回の出席・学習記録カード・レポート 40%、自己評価 20%、試問考査・テスト 40%等により総合的に評価・評定する</p> | | |
| <p>テキスト</p> <p>・生徒指導の理論と方法〈教職課程講座 7〉改訂版</p> | <p>著者 ・江川政成著</p> | <p>出版社 ・学芸図書</p> |
| <p>参考書</p> <p>・適宜、紹介する。 ・講義資料・学習資料を適宜供与する</p> | <p>著者</p> | <p>出版社</p> |
| <p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ・生徒指導の意義と課題 生徒指導の概念と目的、必要性、領域・内容、今日的課題を考察する。 2. ・生徒指導と教育課程との関連(1) 生徒指導と「教科」との関連性 等を考察する。 3. ・生徒指導と教育課程との関連(2) 生徒指導と「道徳」・「特別活動」との関連性 等を考察する。 4. ・生徒指導の組織と計画 生徒指導の組織体制、外部機関の活用 等を考察する。 5. ・生徒(児童)理解 生徒(児童)理解の意味と機能、理解領域・内容 等を考察する。 6. ・生徒指導の方法—その1 集団指導— 集団指導の意義と形態、集団指導の評価・観点 等を考察する。 7. ・生徒指導の方法—その2 個別指導— 個別指導・教育相談の意義目的、教育相談の理論 等を考察する。 8. ・生徒指導の方法—その3 教育相談— 教育相談の基本的態度—来談者の成長力・治癒力への信頼、来談者の受容、共感的理解、自己一致・純粋性、積極的傾聴等—等を考察する。 9. ・教育相談の意義と方法 教育相談の展開と事例、教育相談の効果・意義 等を思考する。 10. ・家庭・関係諸機関との連携 校内・家庭・関係諸機関との連携 等を思考する。 11. ・問題行動の理解と指導 問題行動の種類と原因、問題行動の早期発見・問題行動の処遇(治療と予防対策) 等を思考する。 12. ・進路指導の目的と内容 進路指導の目的と分野・内容 等を思考する。 13. ・進路指導の計画と実践 進路指導の計画と実践 等を思考する。 14. ・生徒指導—事例研究 『いじめ』・『不登校』・『学級崩壊』・『創造性』・『価値観』『進路指導』等について 15. ・評価活動(試験・発表 等) | | |